

ない意見を出してもらえれば」と呼びかけた。入江孝弘監事が、工業会設立から現在までの活動内容を報告。4月20日に冷媒用アルミ被覆管規格制定委員会の設置、5月のウェブサイトに開設などについて触れた。また今後、広報、継手規格制定、認証の各委員会設置を検討していく旨も明らかにした。その他、議事では、植村聡氏（三機工業・建築設備開発部長）を新理事に選出した。

総会後は場所を移して懇親会が催され、会員会社がアルミ配管普及に向けて英気を養った。

京・大田区の大森複合施設ビル（Luz大森）で臨時社員総会を開催した。

同工業会は、空調冷媒配管の次世代の材料として注目されるアルミ配管の普及・発展を国内外で企業の枠を超えて促進するため、一般社団法人として発足。現在会員10社、賛助会員2社が加盟している。今回の総会が、会員会社同士の実質初の顔合わせとなった。総会で挨拶に立った



アルミ配管設備工業会が臨時社員総会

坂吉代表理事、規格制定などに注力

今年1月末に発足したアルミ配管設備工業会（代表理事・坂吉肇氏）は先週28日夕、東

